

今日、京響?

Kyoto Symphony Orchestra

京都市交響楽団 スプリング・コンサート

The Spring Concert of the Kyoto Symphony Orchestra

～京都ゆかりのソリストたちと贈る
コンチェルト&「新世界より」～

©伊藤菜々子

2019 **4/7** 日

午後2時30分開演(午後1時30分開場)

Sunday, April 7, 2019 / 2:30 p.m.

京都コンサートホール *Kyoto Concert Hall*

京都市営地下鉄烏丸線「北山」駅下車、出口1・3番から南へ徒歩約5分

Program

ヴィヴァルディ：2つのトランペットのための協奏曲ハ長調

Vivaldi: *Concerto for 2 trumpets in C major*

[独奏：ハラルド・ナエス&西馬健史 (トランペット)]

ベートーヴェン：ヴァイオリン、チェロ、ピアノのための三重協奏曲ハ長調op.56

Beethoven: *Concerto for violin, cello, piano and orchestra in C major "Triple Concerto" op.56*

[独奏：豊嶋泰嗣 (ヴァイオリン)・上村昇 (チェロ)・上野真 (ピアノ)]

ドヴォルザーク：交響曲第9番ホ短調「新世界より」op.95

Dvořák: *Symphony No.9 in E minor "From the New World" op.95*

2019 1/18 券から発売

入場料
(全席指定)

A ¥2,000 B ¥1,500

プレイガイド (電話予約)

- ・京都コンサートホール (075) 711-3231
- ・ロームシアター京都 (075) 746-3201
- ・24時間オンラインチケット購入 <https://www.e-get.jp/kyoto/pt/>
- ・チケットぴあ (0570) 02-9999 Pコード：133-272

■ 1歳以上未就学のお子様は、「託児ルーム」(有料/定員10名)をご利用ください。

(お子様お1人につき1,000円/2019年3月29日までに
京響075-711-3110へお申し込みください)

お問い合わせ

京都市交響楽団 (075) 711-3110 <https://www.kyoto-symphony.jp/>
京都コンサートホール (075) 711-3231 <https://www.kyotoconcerthall.org/>

◎未就学のお子様のご入場はお断りいたします。◎都合により曲目、出演者等が変更となる場合がございます。



©Naoya Yamaguchi

指揮 下野 竜也(京響常任首席客演指揮者)

Conductor: Tatsuya Shimono (Principal Guest Conductor of KSO)



豊嶋泰嗣 (ヴァイオリン)
Yasushi Toyoshima (Violin)



上村昇 (チェロ)
Noboru Kamimura (Cello)



上野真 (ピアノ)
Makoto Ueno (Piano)



ハラルド・ナエス(トランペット) Harald Næss (Trumpet)



西馬健史(トランペット) Takeshi Nishiuma (Trumpet)

京都市交響楽団スプリング・コンサート

～京都で活躍する名手たちをソロに迎えて、春を彩る華やかな名曲を！～

「スプリング・コンサート」は、「学生の街・京都」「文化の街・京都」にふさわしく、学生や市民の皆様気軽にリーズナブルにクラシック音楽をエンジョイしていただくコンサート。2019年度は常任首席客演指揮者・下野竜也の指揮のもと、ドヴォルザークが新世界アメリカでの生活や印象をもとに作曲した名曲、交響曲第9番「新世界より」で春から新生活をスタートする方々にエールを送るほか、前半は京響トランペット奏者がソロを務めるヴィヴァルディの「2つのトランペットのための協奏曲」と、ベートーヴェンの「三重協奏曲」では京都ゆかりの名手たちが登場して華やかに共演します。美しい桜が咲き誇る春の京都にぴったりの「スプリング・コンサート」を、皆様どうぞお楽しみに！

指揮 下野 竜也 (京響常任首席客演指揮者)

Conductor : Tatsuya Shimono (Principal Guest Conductor of KSO)



©伊藤菜々子

1969年鹿児島生まれ。鹿児島大学教育学部音楽科を経て、桐朋学園大学音楽学部附属指揮教室で学ぶ。1996年にはイタリア・シエナのキジアーナ音楽院でオーケストラ指揮のディプロマを取得。1997年大阪フィル初代指揮研究員として、(故)朝比奈隆氏をはじめ数多くの巨匠の下で研鑽を積む。1999年文化庁派遣芸術家在外研修員に選ばれ、ウィーン国立演劇音楽大学に留学、2001年6月まで在籍。2000年東京国際音楽コンクール(指揮)優勝と齋藤秀雄賞受賞、2001年ブザンソン国際指揮者コンクールの優勝で一躍脚光を浴び、以降、国際的な活動を展開。国内の主要オーケストラに定期的に招かれる一方、海外においても、ローマ・サンタ・チェチーリア管、ロワール管、シュツットガルト放送響、シリコンバレー響など次々と客演を重ねている。読売日本交響楽団の初代正指揮者(2006年11月～2013年3月)を経て、同団首席客演指揮者(2013年4月～2017年3月)を務めた。その間、2011年に広島ウインドオーケストラ音楽監督、2014年4月には京都市交響楽団の常任客演指揮者に就任し、2017年4月からは同団常任首席客演指揮者に就任。2017年4月広島交響楽団音楽総監督に就任。京都市立芸術大学音楽学部指揮専攻教授。

公式ホームページ <http://www.tatsuyashimono.com/>

京都市交響楽団 Kyoto Symphony Orchestra



©伊藤菜々子

日本唯一の自治体直営オーケストラとして1956年創立。2008年4月第12代常任指揮者に広上淳一が就任。2014年4月から常任指揮者兼ミュージック・アドヴァイザーに広上淳一、常任首席客演指揮者に高関健、常任客演指揮者に下野竜也が就任。2015年広上淳一とともに「第46回サントリー音楽賞」受賞。同年6月広上淳一指揮のもとヨーロッパ公演で成功を収め、2016年は創立60周年記念国内ツアーと京都市内で「ふらっとコンサート」を開催し、平成28年度地域文化功労者表彰を受ける。「第37回音楽クリティック・クラブ賞」本賞受賞。2017年4月からは下野竜也を常任首席客演指揮者に据えて広上・高関・下野による3人指揮者体制を確立し、文化芸術都市・京都にふさわしい「世界に誇れるオーケストラ」として更なる前進を図っている。

ヴァイオリン 豊嶋 泰嗣 Violin : Yasushi Toyoshima



©大塚道治

桐朋学園で江藤俊哉、アンジェラの両氏に師事。86年、大学卒業と同時に新日本フィルのコンサートマスターに就任。その後もサイトウ・キネン・オーケストラ等でコンサートマスターを務めている。ソリストとしては、ベルリン放送、モスクワ・ソロイスト、ロンドン・モーツァルト管等、国内外のオーケストラとの共演。室内楽奏者としては、ハレー・ストリング・ファルテットを結成し、00年までカザルスホールのレジデントファルテットを務めた。現在アルティ弦楽四重奏団のメンバーとして活躍。スターン、ヨーヨー・マ、アルゲリッチ、ズッカーマン、マイスキー等との共演を重ねている。現在、新日本フィルソロ・コンサートマスター、兵庫県立芸術文化センター管コンサートマスター、九州交響楽団桂冠コンサートマスター、チェンパー・ソロイスト佐世保 音楽監督。91年村松賞、第1回出光音楽賞、92年芸術選奨文部大臣新人賞受賞。京都市立芸術大学准教授。1719年製 アントニオ・ストラディバリウスを使用。

チェロ 上村 昇 (京響ソロ首席チェロ奏者) Cello : Noboru Kamimura (Solo Cello of KSO)



京都を拠点に、オーケストラ奏者、室内楽奏者として、ソリストとして多面的な演奏活動を続けている。その豊かな演奏経験と人柄で多くの国内外の関係者、音楽仲間にあられる音楽家。1977年日本音楽コンクールで第1位となった後、第6回カサド国際チェロ・コンクールで優勝。東京と京都でJ.S.バッハ：無伴奏チェロ組曲全曲公演を行う。91年ノイマン指揮のチェコ・フィルハーモニー管弦楽団と共演した。演奏活動の中で特筆されるのは、98年京都府民ホール・アルティの開館10周年を記念して結成されたアルティ弦楽四重奏団(ヴァイオリン：豊嶋泰嗣/矢部達哉、ヴィオラ：川本嘉子、チェロ：上村昇)の活動。今や名実ともに日本のトップ・カルテットとしてその評価を確たるものにしていく。旺盛な演奏活動の傍ら、教育活動も30年以上に及び。現在、京都市立芸術大学名誉教授、桐朋学園大学及び大阪音楽大学特任教授。京都市交響楽団ゲストソロチェロ奏者。

ピアノ 上野 真 Piano : Makoto Ueno



カーティス音楽院にて、J.ボレット、G.グラフマン、その後ザルツブルク・モーツァルテウムにてH.ライグラー氏に師事。メリーランド、ペーゼンドルファー＝エンパイア、ジュネーヴ、オルレアン20世紀、リヒテル等の国際コンクールで入賞。世界15か国で演奏を行う。近年は19世紀から20世紀初頭に作られた歴史的な銘器による録音に力を入れている。1816年製プロードウッドによるベートーヴェン・ソナタ集(2011)、1925年製ニューヨーク・スタインウェイによるラフマニノフとドビュッシー(2013)、1852年製エラールを使用したリスト・巡礼の年第2巻(2014)、1906年製ベヒシュタインでのワーグナー＝リスト、スクリャピン、シェーンベルク作品集(2016)、1927年製エラールを演奏したアルバム(2017)等をリリース。2019年にはブラームス作品集を発表予定。モシェレス、チェルニー、ベートーヴェン、ウェバーの室内楽作品の録音プロジェクトも進行中。京都市芸術新人賞、青山バロックザール賞受賞。京都市立芸術大学音楽学部教授。

トランペット ハラルド・ナエス (京響首席トランペット奏者) Trumpet : Harald Næss (Principal Trumpet Player of KSO)



ノルウェー国立音楽院卒業。オスロ・フィルハーモニー管弦楽団・ベルゲン・フィルハーモニー管弦楽団、ノルウェー放送管弦楽団、スウェーデン放送交響楽団など、様々なオーケストラで演奏活動を行うと同時に、シモネ・ヤング、マンフレッド・ホーネック、レイフ・セゲルスラム、マリス・ヤンソンス、ヘルベルト・ブロムシュテットの指揮の下、ノルウェー国内外でツアーを行う。1994年より、オスロ・フィルハーモニー管弦楽団首席トランペット奏者であるヤン・フレデリック・クリスチャンセン氏に師事。ノルウェー王国海軍楽隊、兵庫県立文化センター管弦楽団を経て、現在、京都市交響楽団首席奏者。神戸女学院大学非常勤講師。

トランペット 西馬 健史 (京響トランペット奏者) Trumpet : Takeshi Nishiuma (Trumpet Player of KSO)



神戸市出身。大阪音楽大学短期大学部卒業。第7回大阪国際音楽コンクール第2位、第25回日本管打楽器コンクール第4位。第84回日本音楽コンクール入選。2014年京都市交響楽団と共演。これまでにトランペットを宮村聡、故・岡元達志、茶屋淳子の各氏に師事。Schleswig-Holstein Musik FestivalにてMatthias Höflesのマスタークラスを受講。ガーマンブラス、七吹神喇叭倶楽部、各メンバー。関西トランペット協会理事。現在、京都市交響楽団トランペット奏者。